



平成 30 年 4 月 27 日

各 位

会社名 澤田ホールディングス株式会社  
 代表者 代表取締役社長 上原 悦人  
 (コード 8699 JASDAQ)  
 問合せ先 取締役 三嶋 義明  
 TEL 03-4560-0398(代表)

## 平成 30 年 3 月期業績と平成 29 年 3 月期業績との差異並びに 剰余金の配当に関するお知らせ

平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の業績と前期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績との間に差異が生じました。

また、剰余金の配当を平成 30 年 6 月 28 日開催予定の第 61 期定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 30 年 3 月期の業績と平成 29 年 3 月期の業績との差異について (連結業績)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 当期純利益
平成 30 年 3 月期の連結業績 (A)	52,080	7,192	7,141	4,219
平成 29 年 3 月期の連結業績 (B)	46,374	5,764	6,843	5,591
増減額 (C)=(A)-(B)	5,705	1,427	297	△1,372
増減率 (%)	12.3%	24.8%	4.4%	△24.5%

#### (個別業績)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 30 年 3 月期の個別業績 (A)	533	267	357	691
平成 29 年 3 月期の個別業績 (B)	597	286	789	1,486
増減額 (C)=(A)-(B)	△64	△18	△432	△794
増減率 (%)	△10.8%	△6.6%	△54.7%	△53.5%

平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の連結業績は、銀行関連事業及び証券関連事業が好調に推移したことにより、営業収益、営業利益及び経常利益は前連結会計年度比で増益となりました。一方で、前連結会計年度では関係会社株式売却益 15 億 60 百万円を特別利益として計上しておりましたが、当連結会計年度の特別利益は 5 億 61 百万円に留まり、親会社株式に帰属する当期純利益は 42 億 19 百万円（前連結会計年度比 13 億 72 百万円減）となりました。

個別業績につきましては、為替差益が前連結会計年度比で減少したことや、前連結会計年度で計上しておりました関係会社株式売却益がなかったことにより、当期純利益は 6 億 91 百万円（前連結会計年度比 7 億 94 百万円減）となりました。

## 2. 剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (平成 29 年 3 月期)
基準日	平成 30 年 3 月 31 日	同左	平成 29 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	10 円 00 銭	未定	10 円 00 銭
配当金総額	396 百万円	—	396 百万円
効力発生日	平成 30 年 6 月 29 日	—	平成 29 年 6 月 30 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

当社は、業績に対応した利益還元を行うことを基本方針としておりますが、今後の事業展開と経営体質の強化、財務内容の充実を図るために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していく方針であります。

当期の配当につきましては、財務内容及び連結業績等を勘案し、1 株当たり 10 円の配当（前期と同じ）を平成 30 年 6 月 28 日開催予定の定時株主総会に付議する予定です。

なお、次期（平成 31 年 3 月期）の配当につきましては、当社の主たる事業である証券業は市場環境の変動の影響を大きく受ける状況にあり、業績予想を合理的に行うことが困難であることから、予想配当額を開示しておりません。

以 上